**令和元年度　事業報告書**

特定非営利活動法人たねまき

１　事業の成果

概要

健康診断や日々のバイタルチェック、通院支援などを行い利用者の健康管理に努めた。

職員についても、出張検診車による健康診断、インフルエンザ予防接種支援を行い安心して利用者を支援できる職場環境づくりを目指した。介護負担軽減のため、職員の増員を行い安定的な人材確保に努めた。また、県の虐待防止研修を受講、勉強会などを通じて権利擁護意識共有に努めた。

財務、労務に関しては、深代会計事務所、坂口労務士事務所にそれぞれ業務を委託。専門家からの迅速で正確な指導を受けることにより、法令を順守し健全な運営が行えた。

防災については、基準省令及び解釈通知によって義務付けられている従来の非常災害対策計画に加え、水防法等の一部を改正する法律の施行により避難確保計画作成・届出が義務付けられた。これにより、6か月毎義務付けられている防災訓練に大規模洪水を想定した避難訓練をあわせて実施。避難場所や経路の確認を行った。

令和元年中は穏やかに過ごすことができたが、12月以降中国・武漢市で発生した新型コロナウィルス感染症が広がりを見せ、令和2年3月11日に世界保健機関（WHO）がパンデミックを宣言するに至ってからは、イベントや外出、販売会の中止を余儀なくされ生活が一変した。マスク着用、アルコール等消毒、密閉空間・密集場所・密接場面を回避する活動など、利用者の皆さんも協力してくださり不満を口にすることはないが、我々以上にストレスが溜まっていることと思われる。

1. グループホームレインボー南桜井の運営、管理事業

大きな事件、事故、ご近所とのトラブルはなく生活は安定している。また、体調を大きく崩す利用者は見られなかった。帰寮後のうがい・手洗いは以前から行っているが、新型コロナウィルス感染拡大が問題になってからは、全員のマスク着用、検温、手摺り・ドアノブの消毒を毎日実施。イベントや一部移動支援の中止、急を要さない検査等利用者の通院は延期。服薬している方については、特例として職員が代わりに体調を報告し処方してもらうなど利用者の感染を可能な限り防止した。マスクやアルコールについては、以前より、ある程度備蓄していたので今のところそれらの不足はない。

防災について、避難確保計画策定の手引きの中で指定避難場所への避難が奨励されているが、実際の場面では、移動の判断に迷いが生じることが分かった。令和元年5月21日の大雨では大雨警報（浸水害）、10月12日の台風19号では土砂災害・浸水害警報（警戒レベル4相当避難勧告）が発令されたが、ネット情報との相違や実際の天候などがあり避難を行わなかった。幸い大事には至らなかったが、避難計画が形骸化しないよう心がけたい。レインボーでは主要な災害用備蓄は2階に保管、想定浸水深を超えた建物構造のため、避難が遅れた場合は2階への垂直避難が有効だと思われる。引き続き防災設備の維持管理、備品の拡充を行い防災意識が薄れないよう訓練も欠かさず行った。

1. 生活介護事業所ワークショップ野の花の運営、管理事業

各利用者の個性に配慮した創作活動やレクリエーション支援を行った。また、室内でも運動ができるよう専用器具を用意しご活用いただけた。季節行事や誕生日会、掲示物作成を通じて、利用者と職員が同じ目線で触れ合い共に楽しく過ごすことができた。

利用者の健康については、毎朝のバイタルチェックや石川医師による内科検診、出張健康診断にて状態を把握し各ご家庭との情報交換を密に行った。また、新型コロナウィルス感染防止のため、マスク着用、手洗いの徹底、座席の間隔を空け積極的に換気を行うなど三密防止を行った。利用者の中にはマスクを嫌がる方がいたが、以前ご寄附いただいた布を利用しマスクを自作したところ、色柄が恰好良いので自分も着けたいとマスクをする習慣が身についた方もいた。

野の花では水害、積雪の恐れがある場合は休所、早退を実施。その判断基準は他事業所よりも厳しいが利用者保護者からのご理解・ご協力をいただいている。設備の維持管理、備品の入れ替えに努め、地元消防署より消防訓練や救命講習の指導をいただくなど防災意識の向上を図った。

1. 機関紙、情報誌の発行による障がい者自立支援及び地域福祉向上に関する普及啓発事業

ホームページの維持管理、会報「たねまき」、レインボー南桜井「にじつうしん」、ワークショップ野の花｢毎月の予定表｣の発行を通じ、当法人の活動報告及び主旨の発信を行った。

1. 地域社会交流及びネットワーク構築

音楽会や文化祭、福祉販売などを通じて地域社会との交流がなされ、相互理解、自己実現の場として機能することができた。

特定非営利活動法人たねまき

２　事業の実施に関する事項（平成３１年４月１日 ～ 令和２年３月３１日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 定款の事業名 | 事　業　内　容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者  の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | | 支出額  (千円) |
| 障がい者（知的障害）ケア（グループ）ホームの運営、管理事業 | グループホームレインボー南桜井の運営管理 | 平成31年4月1日より通年 | 春日部市米島818  -30及び周辺地域 | 11名 | 障がい者 | 6名 | 19,654 |
| 障がい者の就労・生活・余暇等の支援事業 | 生活介護事業所ワークショップ野の花の運営管理 | 平成31年4月1日より通年 | 北葛飾郡杉戸町宮前184-1及び周辺地域 | 14名 | 障がい者 | 9名 | 25,616 |
| 機関紙、情報誌の発行による障がい者（児）自立支援及び地域福祉向上に関する普及啓発事業 | ・会報「たねまき」、「にじつうしん」、「毎月の予定表」の発行  ・ホームページ維持管理 | 平成31年4月1日より通年 | 春日部市米島818  -30  杉戸町宮前184-1 | 2名 | 障がい者  家族  会員  関係機関  一般市民 | 不特定多数 | 91 |
| 地域社会交流及びネットワーク構築、その他、目的を達成するため必要な事業 | ・音楽会、お祭りの実施  ・ボランティア受け入れ（Gｈ、生介）  ・見学受け入れ | 平成31年4月1日より通年 | 春日部市米島818  -30  杉戸町宮前184-1 | 14名 | 障がい者  家族  会員  関係機関  一般市民 | 80名 | 61 |

(2) その他の事業　　　実績なし